

第2回多職種連携推進・研修部会の報告です



第2回多職種連携推進・研修部会

平成31年1月16日（水）上越市春日謙信交流館にて、第2回多職種連携推進・研修部会を開催しました。参加者は、部会メンバー3名、上越地域在宅医療推進センター1名、事務局4名です。

第2回目の部会では、今年度の活動を振り返り、今後の取り組みについて話し合い、以下の内容を確認しました。

今年度の振り返り

○昨年度の研修参加者へアンケートを行い、多職種連携の実施状況について確認しました。

～アンケート結果（一部抜粋）～

・(研修会后、職能団体や職場で受講内容についての報告を行ったか)

報告した57.1%、報告しなかった42.9%

・(研修会后、地域連携連絡票を作成したか)

退院前カンファレンスで作成した66.7%

サービス担当者会議で作成した33.3%

・(研修会后、地域連携連絡票作成のために情報提供を依頼される機会があったか)

あった18.2%、なかった81.8%

○アンケート結果を踏まえ、平成30年度多職種連携研修会の内容について検討しました。

・研修受講者へ、研修の目的やリーダーの役割(各職能団体や職場で地域連携連絡票の活用を進めていく)を事前に伝えることで、目的意識をもって参加していただきました。

○多職種連携研修会を年3回開催し、新たなリーダーを30名養成しました。

・9/28「地域連携連絡票について学ぶ」

・10/26「退院前カンファレンスについて学ぶ」

・12/7「サービス担当者会議について学ぶ」

○リーダーの養成と併せて、広く多職種連携を図るための機会（リーダーの活用）について検討しました。

今後のスケジュール

○今年度の研修会参加者へアンケートを行い、リーダーとしての多職種連携の実施状況について確認します。その結果も踏まえ、次年度研修会について検討します。

○連携ツールとしての地域連携連絡票を多職種で協力し作成できるよう、他部会との連携を図ります。

今回話し合った結果は、資料にまとめ、2月21日に開催される実務担当者会議で報告します。